

平成25年度第1回碧南市スポーツ推進審議会 会議録

- 1 日時
平成25年4月19日（金）午後1時30分～午後2時10分
- 2 場所
碧南市臨海体育館 会議室
- 3 出席者及び欠席者
 - (1) 出席者
杉浦昌彦、杉浦民生、石川信夫、生田弘幸、神谷和春、石井有、有本征世、伊藤泰子、古久根久美子、鈴木和代、角谷多恵子、高松透、金沢宏治
 - (2) 欠席者
生田讓、深津清孝、竹内友二、伴野義雄
 - (3) 事務局職員
スポーツ課長 中根雄介、スポーツ課課長補佐 石川政仁・杉浦 潤、
スポーツ課主査 足立淳、藤浦威明、小嶋智子
- 4 傍聴者 0人
- 5 議題
 - (1) 平成25年度 社会体育事業計画について
 - (2) その他
- 6 議事の要旨
 - (1) 教育長あいさつ及び辞令交付（高松教育長）
 - (2) 会長あいさつ（杉浦昌彦会長）
 - (3) 議題
 - (1) 平成25年度 社会体育事業計画について
事務局が会議資料に基づき、社会体育事業計画について説明した。その後、審議した結果、事務局案が了承された。

<主な意見・質疑>

- 【委員1】 チャレンジデーについて、今年度の戦略を教えてください。
- 【事務局】 今年の戦略は、昨年度行って効果があったものを少しずつ強化していくことを考えている。例えば、まとまった人数の報告をいただける臨海部及び内陸部の各企業へ直接参加のお願いをしに個別に回る。また、NPO法人へきなん南部総合型スポーツクラブや市レクリエーション協会の協力で、市内各地で運動している方へチャレンジデーPRをしながら、参加のカウントをすること。さらに、ボランティアの方を中心に市内大型スーパーの出入口でチャレンジデーPRをし、運動した方をカウントすることが挙げられる。もちろん、小中学校・幼稚園保育園の協力を得ないと達成は難しいと思うので、みなさんのご協力をお願いしたい。これらを加味すると、今年度は参加率50%を越えたらと思う。

- 【委員 2】 少年スポーツ海外派遣交流は、来年から始まるのか。具体的に何か決まっているのか。
- 【事務局】 具体的にはまだ決まっていないが、現在、選考基準や要項等について取りまとめている。市広報 6 月 1 日号に募集の掲載する予定。
- 【委員 3】 市体育協会へ依頼があり、各競技団体へは既に連絡済みである。隔年で事業を行う予定なので、平成 26 年度に始動していく。
- 【教育部長】 禰宜田市長のマニフェストとして「海外交流」が掲げられており、議会へは 3 ヶ年の実施計画ということで、平成 26 年度に実施することは報告済みである。少年に対して海外へ派遣をし、競技向上も勿論だが、国際へ視野を広げていく目的の新規事業として、現在は開催要項や補助金交付規程等をつめている状況である。まもなく広報にも掲載されるが、「準備」ということでスタートしており、実際は予算が確定してからの話であるため、全てが確定しているわけではないことを承知していただきたい。
- 【委員 3】 トレーニング講習会の講師は誰が行っているのか。また、定員が 20 名ということだが、現在も受講者が大勢いるのか。
- 【事務局】 講師はスポーツ課職員 2 名が対応している。内 1 名はトレーニング指導員の資格有。4～5 月は定員いっぱいになるぐらい受講者が多い。
- 【委員 3】 (仮) 碧南緑地少年スポーツサッカー場を管理委託しているのは、衣浦港湾会館で良いか。
- 【事務局】 管理委託しているのは、衣浦港湾会館で間違いはない。
- 【委員 3】 スポーツ施設貸出の割り振り（時間）はうまくいっているのか。
- 【事務局】 平成 23 年 10 月から「午前」「午後 1」「午後 2」「夜間」の振分けにしたが、今のところ大きなトラブルはない。
- 【委員 3】 今年度は市制 65 周年だが、冠事業はないのか。
- 【教育部長】 今年度は「財政再スタート宣言」もあり、見直しをした結果、衣浦みなとまつり花火大会以外は、記念事業をやらないという全庁的な統一な方向性として決まっているので、市制 65 周年だとあったとしても冠をつけた中での記念行事は行わない。

(2) その他

事務局より、5 月 3 日（金）、4 日（土）に臨海公園グラウンドで開催する「第 8 回全国女子軟式野球選抜交流碧南大会」について案内をした。